先見労務管理 11・10 No.1788

目　次

特集：2026年年末一時金の展望 …… 2

## 年末一時金を取り巻く環境は良好な状態

いわゆる“トランプ関税”のマイナスの影響は概ね一巡したとの見方となか、2026年年末一時金の展望について三菱UFJリサーチ＆コンサルティングの小林真一郎氏に解説いただく。小林氏は「一部で厳しさもあろうが、企業部門全体でみた場合には堅調な増加が続く」と見込んでいる。

データファイル

◆規模別等の給与額⑨（令和６年分）…… 32
**平均給与は建設業565万円、サービス業389万円**
国税庁調べ

◆令和７年度雇用均等基本調査 …… 41
**男性の育児休業取得者割合は50.9%**
厚生労働省調べ

好評連載

◆判例詳解［287］東横イン事件 …… 48
**部下巻き込み不正した支配人の懲戒解雇は有効**
弁護士法人ALG&Associates　弁護士　家永勲

◆日々去来～全国ハローワーク探訪～［882］ …… 56
**地域の声を聴き、人と企業をつなぐ**
宮城・大河原公共職業安定所　加納悦子

◆税務相談百例［296］ …… 60
**令和８年の年末調整における注意点**
税理士　野村浩子

ニュース

「AIが業務を補完する形で活用」と分析（厚生労働省が令和８年版労働経済白書を公表）／７割強が「トラブルや法的リスク」懸念（生産性本部がAIの雇用への影響で調査）／合格率は9.3%で前年比3.8ポイント増（第58回社労士試験の合格者）／京都労働局が新しい最低賃金額を公示（11月16日から「時間額1180円」発効）…… 20

＜Labor Radar vol.175＞ …… 22

労務相談室　入社1カ月の労働者が育休申し出／労使協定の取り決め理由に拒めるか …… 62

読者アンケート …… 59

編集後記 …… 64